



60

Aichi University of the Arts
60th Anniversary



法隆寺金堂壁画模写秋季展 2026

MUSEUM OF HORYUJI
MURAL REPRODUCTIONS

仏ノ相貌、
キラギラシ

2026年10月20日「火」—
11月15日「日」

休館日：月曜—開館時間：10時—16時—入館無料

愛知県立芸術大学

法隆寺金堂壁画模写展示館 常設展示室

常設展示室のみの公開となります。

予定を変更する場合がございます。

最新情報は大学ウェブサイトよりご確認ください。



大学ウェブサイト

法隆寺金堂壁画6号壁模写（部分）
1980、82年度模写 紙本着色 愛知県立芸術大学蔵
原本：白鳳時代 重要文化財 法隆寺蔵

仏ノ相貌、 キラギラン

仏教が日本に公的に伝えられたのは欽明天皇の時代で、金銅像や経論などとともに、百濟の聖明王から伝えられました。『日本書紀』には、釈迦仏の金銅像を初めて目にした欽明天皇がその造形を「佛相貌端嚴（仏のかほきらぎらし）。全未曾有（全ら未だ曾て有ず）。」と評し、外来の仏を受け入れるべきか否か臣下に問いかける様子が記されています。この記述からは、これまで見たことのない金銅像の造形的な

美しさや外形的特徴が、未知なる仏法の「無量無邊（量も無く辺も無き）」力を期待させたことが読み取れます。

欽明天皇がこの端正で厳かな金銅像から仏の只ならぬ力を予感したように、仏の姿や形には常人とは異なる特徴が表されています。本展では、額中央の白毫や指の間の水かきなど仏が備えた三十二の身体的特徴や、頭上や光背などに現出した小仏像、衆生救済のために変化する仏のからだについて、『法隆寺金堂壁画模写』や『金銅比丘立像』などからご紹介します。さらには、造像時に生じた仏像の胎内の空洞に籠められた《毘沙門天胎内摺仏》などを展示します。仏のからだに充溢する無限の力を、是非感じ取ってください。

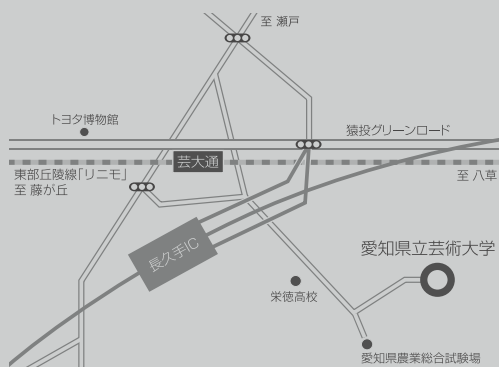


1
2
3 4 5

愛知県立芸術大学 法隆寺金堂壁画模写展示館

MUSEUM OF HORYUJI MURAL REPRODUCTIONS
AICHI UNIVERSITY OF THE ARTS

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
TEL/FAX 0561-76-4698 (平日 9:00~16:30)
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp>



〔名古屋方面から〕
市営地下鉄東山線「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）「芸大通」駅下車徒歩約10分。

〔豊田・瀬戸方面から〕
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）「芸大通」駅下車徒歩約10分。

- 1 法隆寺金堂壁画1号壁模写
1985、87年度模写 紙本着色
愛知県立芸術大学蔵
原本：白鳳時代 重要文化財 法隆寺蔵
- 2 毘沙門天胎内摺仏
1162年 紙本墨刷 愛知県立芸術大学蔵
- 3 金銅比丘立像
唐時代 銅製鍍金 愛知県立芸術大学蔵
- 4 法隆寺金堂壁画6号壁模写
1980、82年度模写 紙本着色
愛知県立芸術大学蔵
原本：白鳳時代 重要文化財 法隆寺蔵
- 5 法隆寺金堂壁画12号壁模写
1982、84年度模写 紙本着色
愛知県立芸術大学蔵
原本：白鳳時代 重要文化財 法隆寺蔵

